

令和7年度 自己評価結果のお知らせ

新年度が始まりました。保護者の皆様には引き続き宜しくお願い致します。さて、今回の文章は昨年度末に行いました、職員の自己評価の集計結果を記載してあります。この職員の自己評価は、結果を公表することとなっているものです。なお、設問の詳細や内容についてのご質問は事務室までお申し出ください。

また、傾向として職歴が長いほど設問を深く理解しようするがゆえに自己評価が低くなる傾向があります。そういった事を加味しつつ分析・評価をいたしました。

【実施人数：正規職員19名】 *栄養士を含む

○…理解し実行できる △…理解しているが実行できているか不安 ×…できていない 無回答…回答しない

I こどもの発達(6問)

○	△	×	無回答
86%	13%	0%	1%

II 教育・保育の内容(5問)

○	△	×	無回答
80%	15%	5%	0%

III 教育・保育の計画及び評価(9問)

○	△	×	無回答
57%	38%	4%	1%

IV 発達と援助(10問)

○	△	×	無回答
73%	22%	3%	2%

V 健康及び安全(16問)

○	△	×	無回答
80%	15%	0%	5%

VI 職員の資質向上(45問)

○	△	×	無回答
75%	23%	1%	1%

【分析・評価】

こどもの発達	全体的には知識と実行はされていると評価
教育・保育の内容	出来ているとする評価だが、出来ていないとの回答もあった
教育・保育の計画及び評価	理解はしているが、実行できているか不安な者があるとの評価
発達と援助	全体的には知識と実行はされていると評価
健康及び安全	全体的には知識と実行はされていると評価
職員の資質向上	理解はしているが、実行できているか不安な者があるとの評価

【改善】

こどもの発達	個人の知識を共有する場の提供、担当の職員による指導を行う。研修などを積極的に参加する機会を与えつつ、ICTシステムによる動画での研修を通じて自信を持って実行できるように知識の共有も行いながら進めていく。
教育・保育の内容	
教育・保育の計画及び評価	
発達と援助	
健康及び安全	
職員の資質向上	

令和7年度 泉ヶ丘こども園 施設評価結果

評価委員 ・元小学校教諭 ・法人職員 ・保護者2名（計4名）

- ・新園舎における教育・保育活動が順調に行われている。新型コロナウイルス感染症流行以降、健康チェック・室内外の消毒等、健康管理に引き続き重点を置かざるを得ない状況が続き、職員全員が日常の保育を懸命に実施し、子ども達の生活体験の充実を図っていることは高く評価する。
- ・地域交流等は、以前のように再開されており、近隣住民と共通理解が深められている。
- ・職員研修は、キャリアアップ研修、ICTシステムを利用した個人研修を行い、園内での全体研修では、職員の体調管理を目指した講師による研修を実施している。
- ・感染対策については、看護師等の指導の下、前年同様出来得る限りの対応をしたと考えられるが、今後も対策を続けてほしい。
- ・地域子育て支援、一時保育事業は再開されており、一層の育児支援体制の向上が期待できる。

評価項目	評価内容
教育課程、指導	職員は概ね理解しており、共通理解が得られている
保健管理	健康観察、疾病予防は、看護師の助言を受け、各担任が園児の健康チェックを引き続き行っており、保護者向けに「保健だより」を定期的に発行するなど、充実した対応をしている。
安全管理	退避訓練を、火災・地震・不審者等の想定によって定期的に行われている。また、野外保育・散歩等の園外活動での安全管理が図られていた。
特別支援教育	石岡市による5歳児検診等、「気になる子」対策を含め、就学前の早期対応の体制を整えている。
組織運営	園長・副園長、事務長の管理職、主幹保育教諭・副主幹保育教諭・主任栄養士等の責任者を設置し、各部署への伝達、業務助言を的確に行っていた。
資質の向上への取り組み	園外研修は再開しており、開催自体がインターネットを利用しているものが多くなっているが、新園舎では接続環境に整備されている。
教育目標・学校評価	本年度は、教育・保育要領に基づいた職員自己評価を行い、それに基づき、施設評価を実施している。
情報提供	毎月の園行事・給食予定献立・子育て家庭に向けた育児情報の発信をHPと園掲示板で表示している。
保護者、地域住民との連携	保護者には毎月「愛育だより」「予定表」「予定献立表」を配布し、利用者等へ配布している。 例年町内行事の開催場所として提供している。
子育て支援	乳児保育、延長保育、地域子育て支援拠点事業、一時保育に取り組んでいる。
預かり保育	1号認定、2・3号認定の短時間利用者の預かり保育、延長保育を実施している。
教育環境整備	園舎内の玩具は毎日消毒を行う。特に乳児の玩具は使用の度に器具又は消毒液を使用し衛生を保っている。屋外遊具は毎日点検し安全を確認している。
＜課題と検討＞ ・新型コロナウイルス感染症以降は、園行事の年齢による分散開催を主流にしており、今後も子どもの成長に資することを第一に考えることで創意・工夫を凝らすことが求められる。	